

積水化学工業株式会社



2024年度（2025年3月期）

# 第3四半期 決算説明会

代表取締役 専務執行役員  
清水 郁輔

2025年1月30日

# 2024年度第3四半期実績および通期見通し

為替レート	2023年度			2024年度				
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	4Q計画 (10月)	下期計画 (10月)
社内前提	-	-	-	¥149/US\$ ¥163/€	¥153/US\$ ¥161/€	¥153/US\$ ¥162/€	¥140/US\$ ¥163/€	¥145/US\$ ¥163/€
実績 *期中平均	¥148/US\$ ¥159/€	¥148/US\$ ¥161/€	¥148/US\$ ¥160/€	¥152/US\$ ¥163/€	-	-		

※輸出は社内前提レート適用。為替感応度は社内前提レートで対USドル1円（円安）あたり営業利益+約5億円/年

# 2024年度第3四半期および第3四半期累計 損益概要

- 3Qは増収、各段階の利益とも増益
- 3Q売上高、営業利益は、計画（10月）をやや上回って進捗。過去最高値を更新
- 3Q累計は増収、大幅営業増益。売上高ならびに各段階の利益で過去最高値を更新

★：過去最高値

(億円)	2023年度 3Q実績 (10-12月)	2024年度 3Q実績 (10-12月)	増減	2023年度 1Q-3Q実績 (4-12月)	2024年度 1Q-3Q実績 (4-12月)	増減
売上高	3,126	★ 3,263	+137	9,239	★ 9,553	+314
営業利益	247	★ 286	+40	658	★ 774	+115
経常利益	213	★ 380	+167	728	★ 861	+133
親会社株主に帰属する 四半期純利益	140	★ 256	+116	584	★ 685	+101

# 2024年度第3四半期および第3四半期累計 セグメント別

■ 3Qは、国内・グローバル市況が想定をやや下回って推移するも、全社合計、全セグメントで増収。高機能品の拡販、スプレッド確保等により大幅増益

- ・高機能P\*：エレクトロニクス分野での高機能品拡販を中心に、売上高、営業利益とも計画（10月）を上回って増収増益
- ・住宅\*：住宅事業の売上前倒し、リフォーム事業の拡大等により、売上高、営業利益とも計画（10月）を上回って、増収、大幅増益
- ・環境LL\*：住宅・非住宅市況は低調も、スプレッドの維持等により、計画（10月）通り増収増益
- ・メディカル：検査海外の需要減、拡販遅延等により計画（10月）を下回るも、国内感染症検査薬、医療事業は堅調に推移し、増収増益
- ・その他：ほぼ計画（10月）通りに進捗。「その他」の内訳：PV\*▲5億円、LB\*▲3億円、BR\*▲5億円、R&D他▲17億円

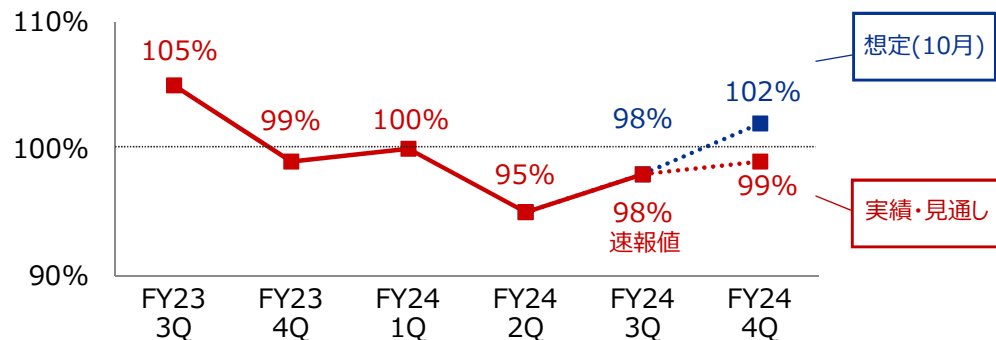
(億円)	2023年度 3Q実績 (10-12月)		2024年度 3Q実績 (10-12月)		増減		2023年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		2024年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,060	146	★1,120	★156	+60	+10	3,063	376	★3,331	★455	+268	+79
住宅	1,267	65	★1,320	87	+53	+22	3,915	194	3,857	233	▲59	+38
環境LL	598	59	★608	★66	+10	+7	1,695	139	★1,743	★150	+48	+11
メディカル	237	29	★251	33	+14	+5	674	80	★730	★93	+56	+13
その他	13	▲29	16	▲29	+3	▲1	45	▲80	51	▲88	+5	▲9
消去又は全社	▲49	▲23	▲53	▲26	▲4	▲4	▲152	▲51	▲158	▲68	▲5	▲17
合計	3,126	247	★3,263	★286	+137	+40	9,239	658	★9,553	★774	+314	+115

\*高機能P=高機能プラスチックカンパニー \*住宅=住宅カンパニー \*環境LL=環境・ライフラインカンパニー

\*PV=ペロブスカイト太陽電池プロジェクト \*LB=定置型リチウムイオン電池事業 \*BR=バイオリファイナリー事業

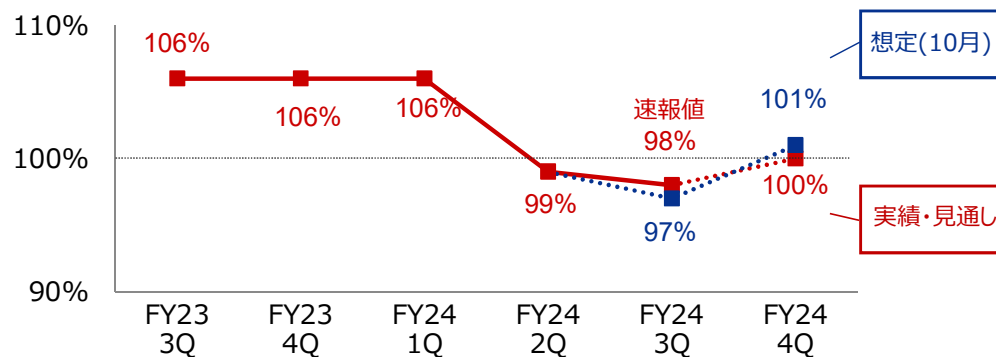
## グローバル自動車生産台数 (前年同期比)

3Qは想定(10月)通りに推移。4Qは想定(10月)を下回って前年並みの見通し



## スマホ出荷台数 (前年同期比)

3Qはほぼ想定(10月)通りに推移。4Qは想定(10月)をわずかに下回って前年並みの見通し



## 住宅・集客 (前年同期比)

3QはWEB等の資料請求増により、集客全体では前年を上回って推移。4Qも同様に推移する見通し

※[ ]内は想定(10月)

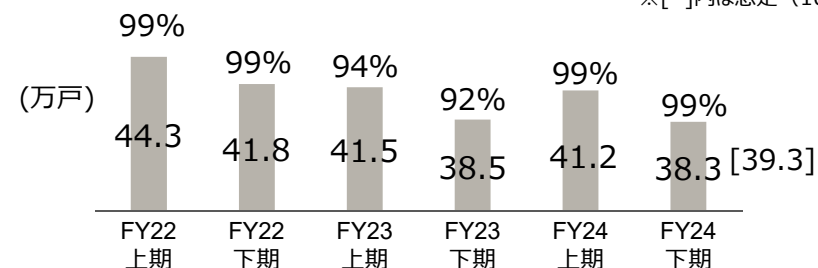
	FY24 上期	FY24 3Q	FY24 4Q	FY24 下期
集客全体	105%	105% [101%]	102% [101%]	103% [101%]
資料請求 (WEB等)	119%	110% [109%]	109% [110%]	110% [110%]
展示場来店	91%	94% [92%]	93% [93%]	93% [92%]

## 新設住宅着工 (前年同期比)

需要低迷継続。下期は前年並みを見込む

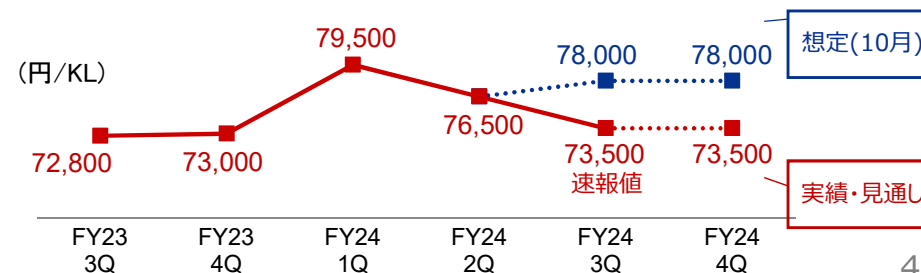
※環境LL各製品の需要発現：住宅着工後4~6ヶ月

※[ ]内は想定(10月)



## 国産ナフサ価格前提

3Qは想定(10月)を下回って推移。4Qも同様に推移する見通し



# 2024年度下期見通し セグメント別

■ 全社合計、全セグメントで増収増益を見込む。国内・グローバル市況低迷継続により売上高は計画（10月）をやや下回る見通しも、売値改善、高機能品拡販、為替差益影響により全社営業利益見通しを上方修正

・その他：PV ▲11億円、LB ▲4億円、BR ▲12億円、R&D他 ▲35億円

(億円)	2023年度 下期実績		2024年度 下期見通し		増減		2024年度 下期計画(10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	2,126	280	★ 2,300	★ 311	+174	+32	2,239	292	+61	+19
住宅	2,649	148	2,700	165	+52	+18	2,730	165	▲30	0
環境LL	1,251	141	★ 1,306	★ 159	+54	+18	1,328	159	▲22	0
メディカル	489	58	★ 536	66	+47	+8	550	73	▲14	▲7
その他	41	▲57	50	▲62	+10	▲5	53	▲70	▲3	+8
消去又は全社	▲104	▲37	▲106	▲58	▲2	▲21	▲104	▲58	▲2	0
合計	6,452	532	★ 6,786	★ 583	+334	+50	6,796	563	▲10	+20

# 2024年度下期見通し（3Q、4Q別）セグメント別

■ 住宅は売上前倒し影響も、4Qは全社合計、3セグメントで増収増益を見込む

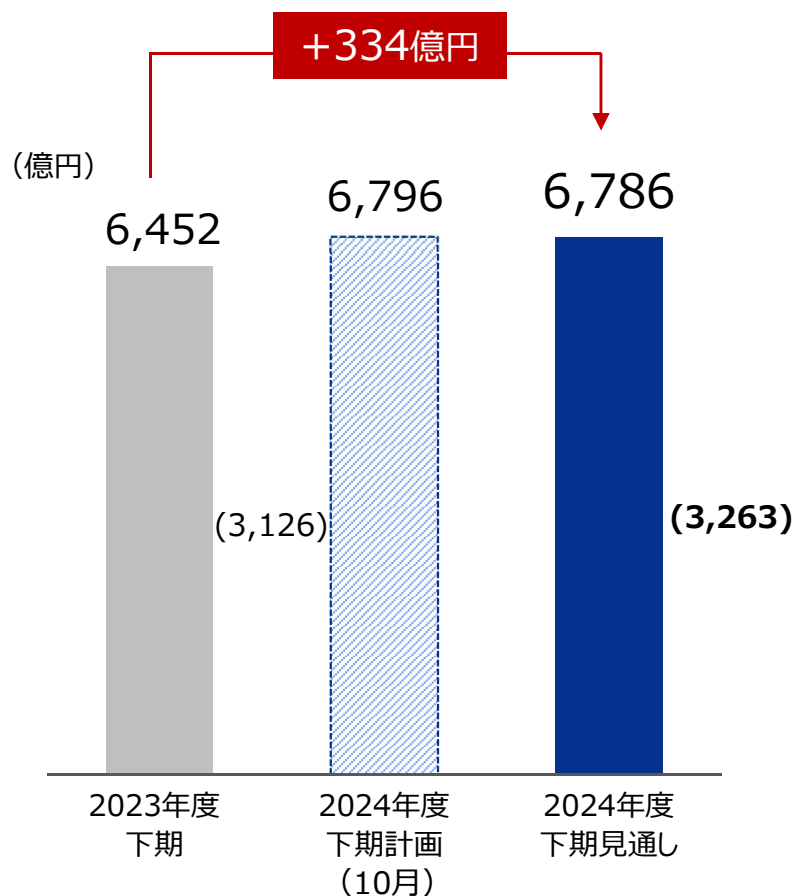
(億円)	2023年度 3Q実績		2024年度 3Q実績		増減		2023年度 4Q実績		2024年度 4Q見通し		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,060	146	★1,120	★156	+60	+10	1,066	134	★1,180	★155	+114	+22
住宅	1,267	65	★1,320	87	+53	+22	1,381	83	1,380	78	▲1	▲5
環境LL	598	59	★608	★66	+10	+7	653	82	697	★94	+44	+12
メディカル	237	29	★251	33	+14	+5	253	29	285	33	+32	+4
その他	13	▲29	16	▲29	+3	▲1	27	▲28	34	▲33	+7	▲4
消去又は全社	▲49	▲23	▲53	▲26	▲4	▲4	▲55	▲14	▲53	▲32	+2	▲17
合計	3,126	247	★3,263	★286	+137	+40	3,326	286	★3,524	296	+198	+11

# 2024年度下期見通し 業績分析

「数量・構成」は大幅増も、住宅・非住宅の市況低迷、中国の検査薬需要減等により、売上高は計画（10月）を下回って推移。スプレッドの維持、「CR等」、「固定費」抑制に加え、「為替」差益影響も寄与し、営業利益は前年ならびに計画（10月）を大幅に上回る見通し

## 売上高

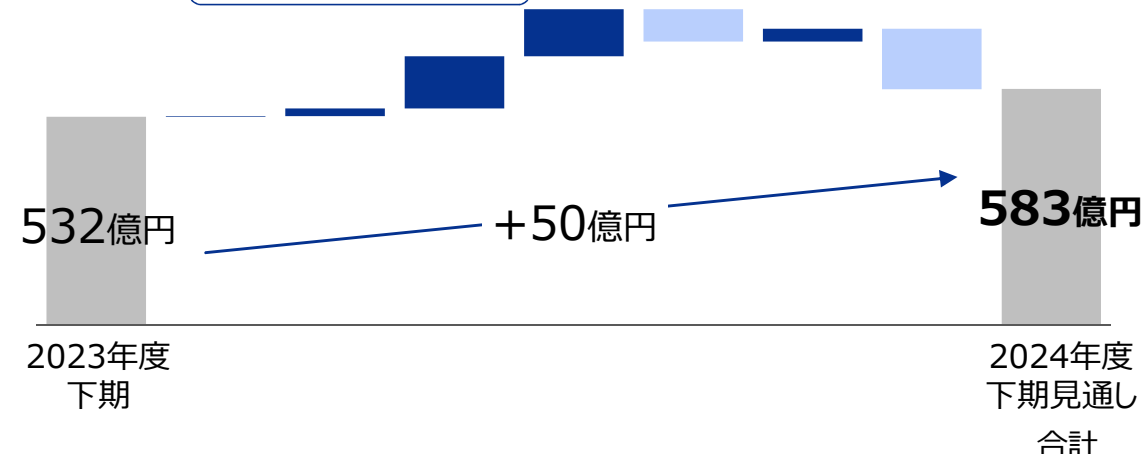
\*カッコ内は3Q実績



## 営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
下期計画 (10月)	0	▲3	+117	+83	▲61	+16	▲124	+30
下期増減見通し	+1	+14	+96	+86	▲59	+23	▲109	+50

高機能P+58、住宅+9、環境LL+5、メディカル+28



3Q増減	+1	+3	+48	+38	▲27	+6	▲29	+40
4Q増減	0	+11	+46	+49	▲32	+18	▲80	+11



# 2024年度通期見通し セグメント別

- 全社合計、全セグメントで増益、高機能Pで大幅増益を見込む
- 全社合計ならびに、住宅を除く各セグメントで年度最高益を更新する見通し
- 営業利益見通しを上方修正

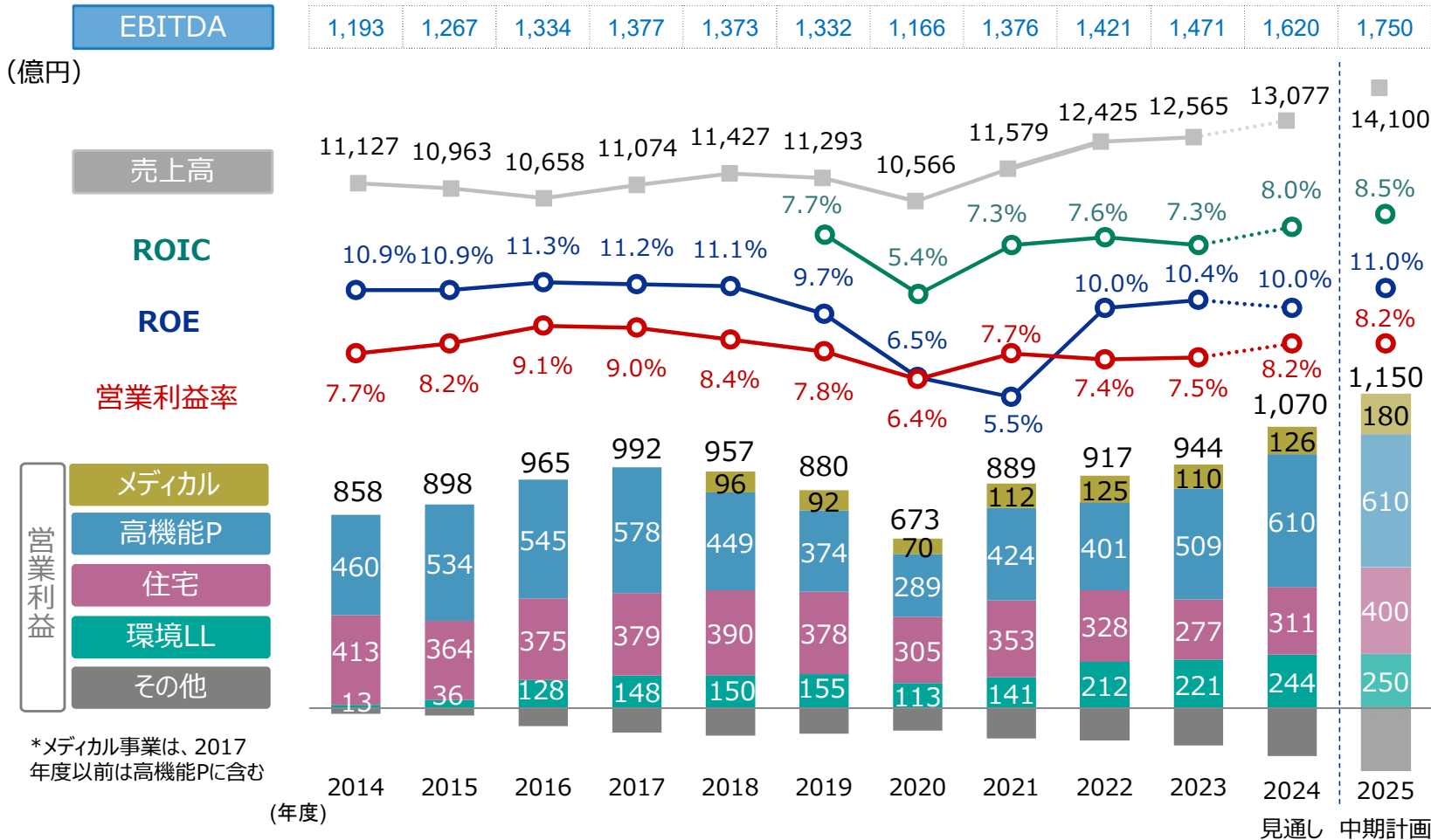
(億円)	2023年度 実績		2024年度 見通し		増減		2024年度 計画(10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	4,129	509	★ 4,511	★ 610	+382	+101	4,450	591	+61	+19
住宅	5,297	277	5,237	311	▲60	+34	5,267	311	▲30	0
環境LL	2,348	221	★ 2,440	★ 244	+92	+23	2,462	244	▲22	0
メディカル	926	110	★ 1,015	★ 126	+89	+16	1,029	133	▲14	▲7
その他	73	▲108	85	▲121	+12	▲13	88	▲129	▲3	+8
消去又は全社	▲207	▲65	▲211	▲100	▲4	▲35	▲209	▲100	▲2	0
合計	12,565	944	★13,077	★1,070	+512	+126	13,087	1,050	▲10	+20

# 2024年度通期見通し 損益概要および株主還元

- 増収。各段階の利益とも増益の見通し
- 売上高は計画（10月）をやや下回るも、各段階の利益は計画（10月）を上回って着地の見通し
- 売上高、各段階の利益とも過去最高値を更新する見通し
- 配当は計画（10月）から2円増額の1株あたり期末配当40円、年間配当77円（3円増配）を計画

(億円)	2023年度 実績	2024年度 見通し	増減	2024年度 計画（10月）	差異
売上高	12,565	★ 13,077	+512	13,087	▲10
営業利益	944	★ 1,070	+126	1,050	+20
経常利益	1,059	★ 1,060	+1	1,025	+35
親会社株主に帰属する 当期純利益	779	★ 800	+21	780	+20
配当 (円/株)	74	★ 77	+3	75	+2

- 2025年度中期経営計画の達成が射程内に
- ペロブスカイト太陽電池の量産化（100MW）投資を決定。Vision 2030達成に向け成長へのシフトを加速



カンパニー別ROIC (%)

	2023	2024
メディカル	8.3	8.8
高機能P	11.1	12.5
住宅	11.3	12.5
環境LL	9.7	10.3

\*メディカル事業は、2017年度以前は高機能Pに含む

\*2022年度以降はPF組替え後の数値を記載

外部環境

2014年4月	2018年3月	2019年10月	2020年2月～	2022年2月～
消費増税 <5%→8%>	米中貿易 摩擦台頭	消費増税 <8%→10%>	COVID-19 感染拡大	ロシアによる ウクライナ侵攻

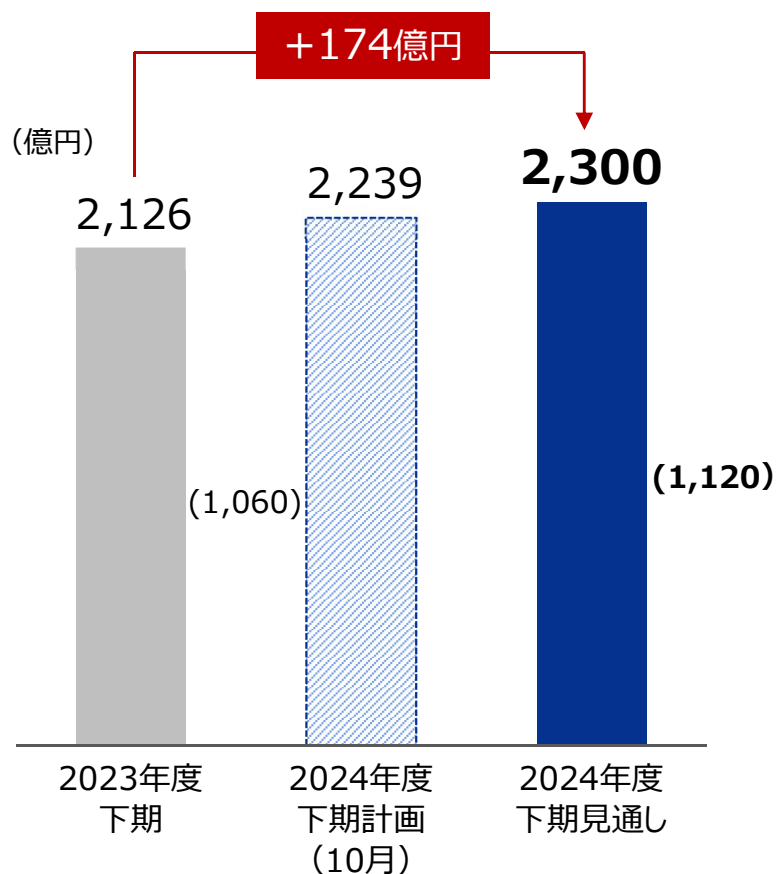
為替レート	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
/US\$ (期中平均)	¥110	¥120	¥108	¥111	¥111	¥109	¥106	¥112	¥135	¥145	¥153	¥135

\*2024年度は想定。  
2025年度は中期計画策定時点の前提

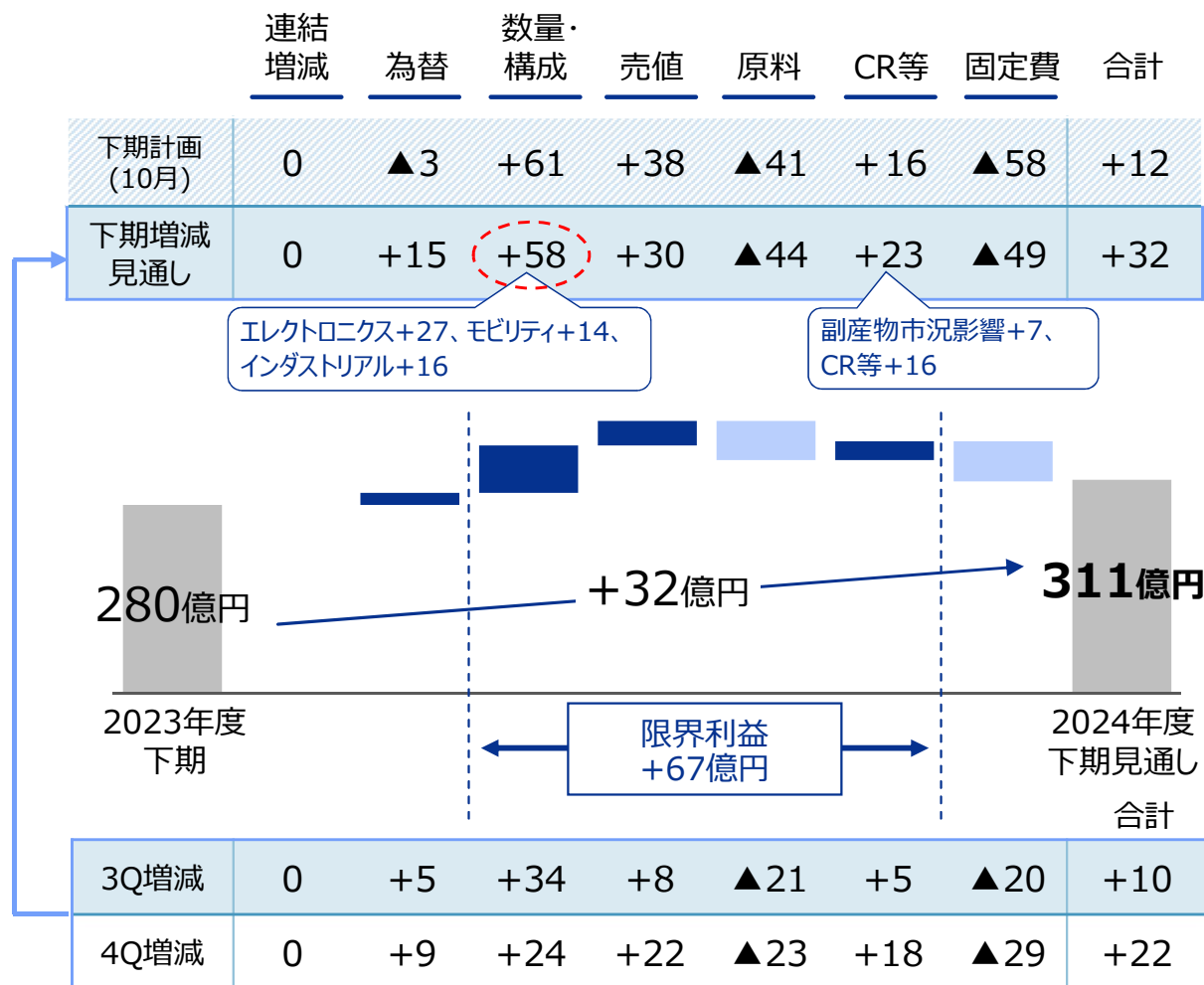
■ 高性能半導体を中心としたエレクトロニクス分野の好調、また建築・消費財関連での売値改善効果により、大幅増収増益。「数量・構成」増に加えて、「CR等」、「固定費」抑制、「為替」差益影響も寄与し、計画（10月）を上回って着地の見通し。下期および年度での最高益更新を目指す

## 売上高

\*カッコ内は3Q実績



## 営業利益増減要因分析



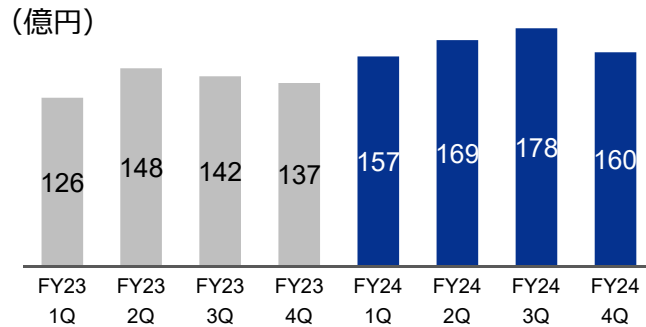
## 戦略3分野の売上高推移と重要指標

成長牽引事業 中期経営計画Drive 2.0  
における現有PF強化として  
成長期待事業 明確化した11事業を表示

### エレクトロニクス

エレクトロニクス  
(半導体・ディスプレイ材料)

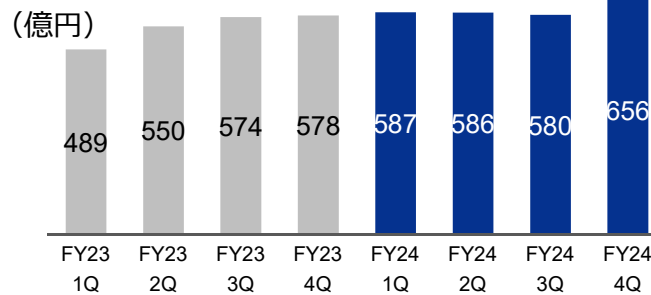
- 3Q：液晶分野は、スマホ市況、大型パネル需要が堅調に推移。半導体関連での新規獲得による非液晶分野の大幅伸長継続
- 4Q：引き続き高機能半導体を中心とした非液晶分野の着実な伸長を見込む



### モビリティ

モビリティ  
(高機能中間膜・放熱等)

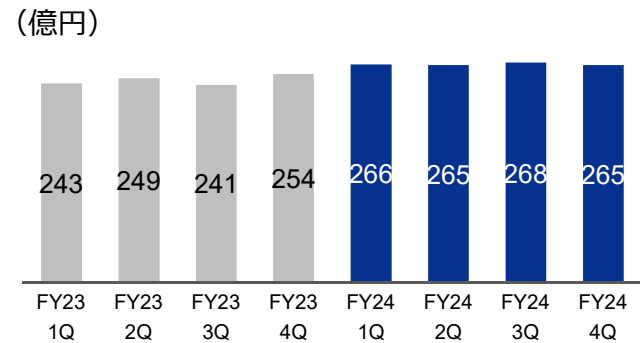
- 3Q：中国での停滞影響大きく、HUD向け中間膜の伸長鈍化（HUD向け 3Q 97%伸長\*販売量ベース）
- 4Q：HUD向けを中心としたN-HPP拡大を見込む（HUD向け 下期 109%伸長\*販売量ベース）
- AEROSPACE社は下期黒字化に目途



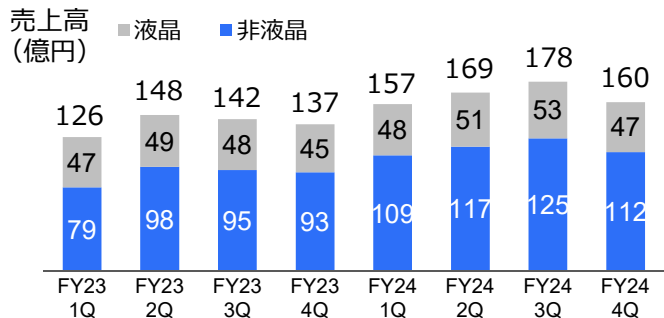
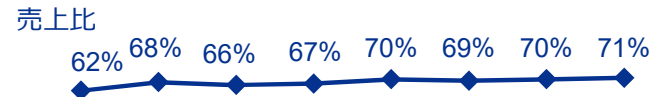
### インダストリアル

センシング・  
成型品

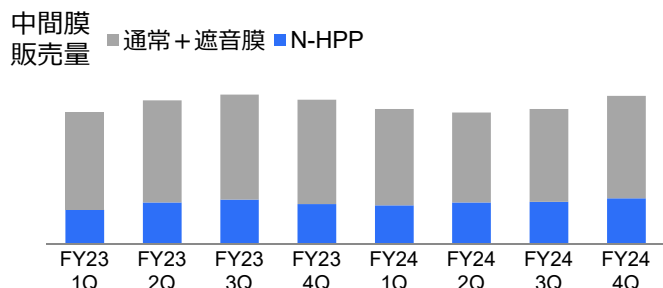
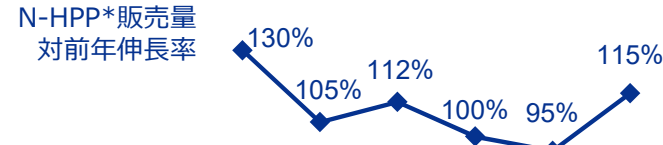
- 3Q：包装、建築・消費財需要は低迷も、売値改善効果発現により、伸長継続
- 4Q：引き続き「省力化・環境対応製品」拡販に注力



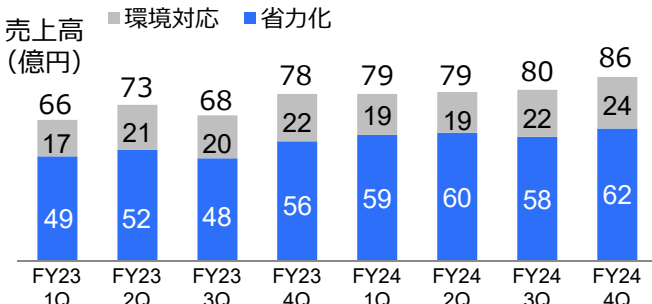
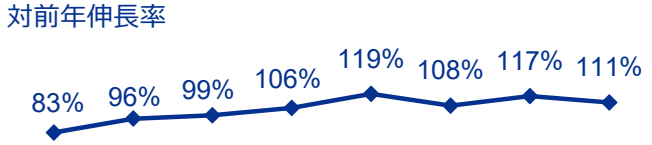
### 【非液晶分野注力】



### 【N-HPP拡販】



### 【省力化・環境対応製品拡販】

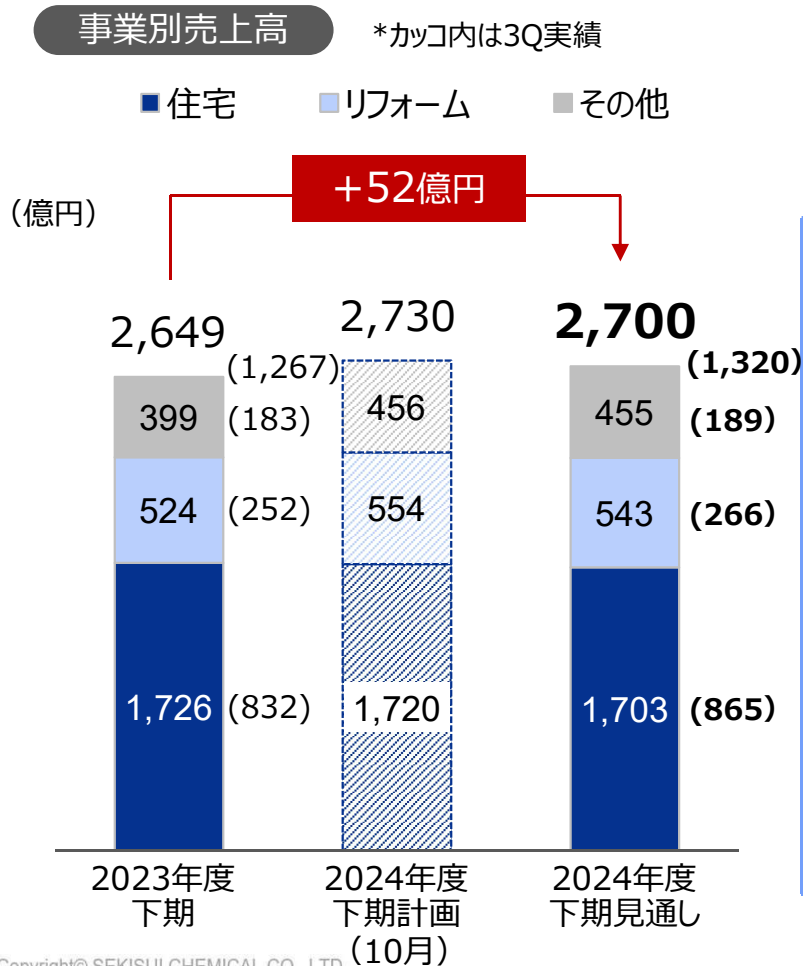


\* N-HPP：New高機能膜。従来の高機能膜から遮音膜を除き、それ以外のHUD、遮熱、カラー/デザイン膜を総称するもの

- 3Q：住宅事業は売上前倒し、棟単価UP、構成改善により増収増益。リフォーム事業は受注拡大。カンパニー全体で増収増益。
- 4Q：住宅事業は売上棟数減も、構成改善および収益性強化策による固定費削減効果が継続。下期：カンパニー全体で増収増益、営業利益は計画（10月）達成の見通し
- 不動産事業とまちづくり事業を「レジデンシャル事業」として統合（1月）。不動産領域における成長投資を積極化

## 営業利益増減要因分析

\*その他（不動産・まちづくり・海外・住生活・でんき）



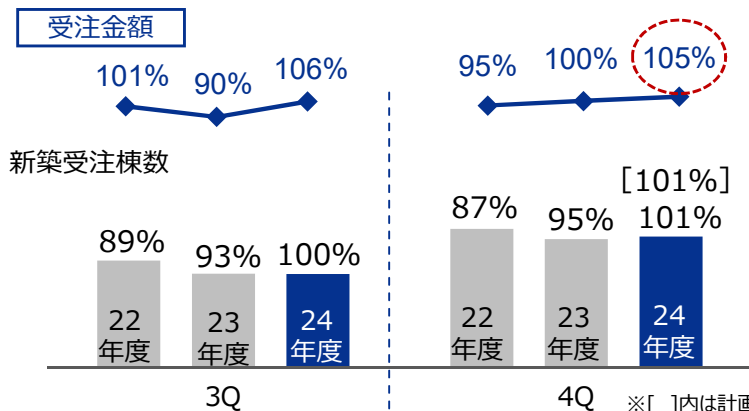
	売上 要因	限界利益 要因	固定費	リフォーム 限界利益	リフォーム 固定費	その他 限界利益	その他 固定費	合計
下期計画 (10月)	0	▲8	+12	+14	▲8	+13	▲7	+17
下期増減 見通し	▲17	+12	+10	+12	▲6	+12	▲6	+17
売上棟数▲135棟 計画（10月）比▲135棟		部材▲17 構成・CR等+29						
2023年度 下期	148億円			+17億円			165億円	
	うち 住宅	うち 住宅	うち 住宅	うち 住宅	うち 住宅	うち 住宅	うち 住宅	
	: 79億円	: 79億円	: 79億円	: 84億円	: 84億円	: 84億円	: 84億円	
	リフォーム: 42億円	リフォーム: 42億円	リフォーム: 42億円	リフォーム: 48億円	リフォーム: 48億円	リフォーム: 48億円	リフォーム: 48億円	
	その他: 26億円	その他: 26億円	その他: 26億円	その他: 33億円	その他: 33億円	その他: 33億円	その他: 33億円	
2023年度 下期	住宅 +5億円		リフォーム +6億円		その他* +7億円		2024年度 下期 見通し 合計	
3Q増減	+2	+7	+8	+7	▲3	+3	▲2	+22
4Q増減	▲19	+5	+2	+5	▲3	+10	▲4	▲5

## 住宅事業

(前年同期比)

### 新築受注

- 住宅受注は都市部を中心に徐々に回復傾向
- 集合、戸建請負をはじめとした高価格帯商品の受注拡大が、受注金額の増大に寄与



### <建築種別受注金額・棟数>

種別	項目	棟数	FY24			
			上期	3Q	4Q	下期
戸建	請負	棟数	102%	101%	103%	102%
	建売	棟数	86%	90%	85%	87%
		金額	107%	104%	104%	104%
		棟数	100%	99%	101%	100%
集合	金額		108%	122%	105%	112%
	棟数		100%	108%	100%	103%

### <期末受注残>

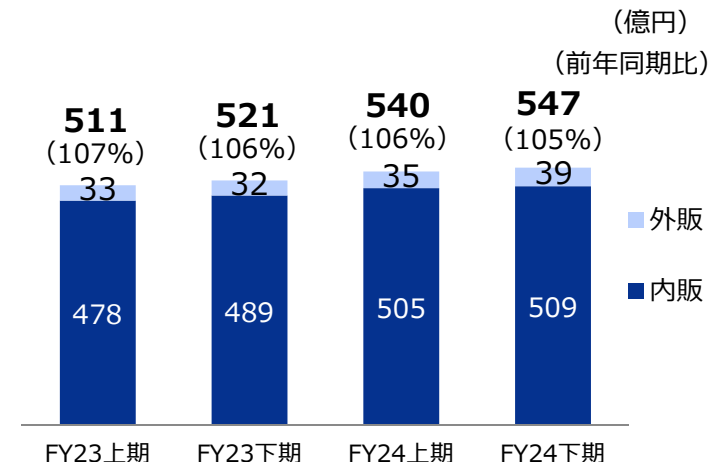
項目	FY24		上期	下期
	総額	前年差	1,535	1,600
期末受注残*			+180	+330

※[ ]内は計画 (10月) ※リフォーム除く住宅のみ (億円)

## リフォーム事業

### リフォーム受注高

- 定期診断充実化により、堅調に大型改装受注獲得
- 断熱リフォーム受注拡大継続

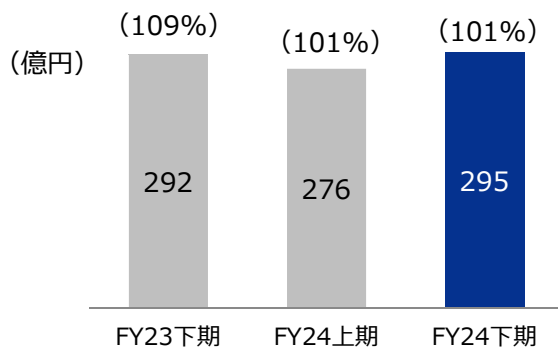


## 不動産事業 他

- 賃貸管理戸数の増大と仲介の拡大
- 買取再販・アセットビジネス強化
- 高齢者事業の譲渡を決定

### 不動産事業売上高

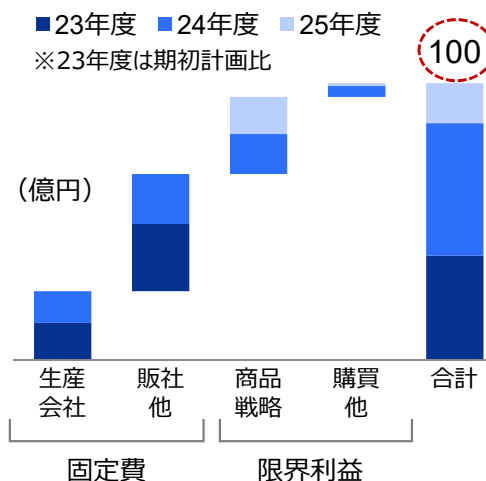
(前年同期比)



## 持続的成長に向けた収益性強化策・進捗状況

### 強化策の効果目標 (住宅事業のみ)

- 収益性改善が順調に進捗



### 1) コスト構造改革ロードマップ

	FY2023	FY2024	FY2025~
木質系商品の生産体制最適化			
生産会社 (北海道) 運営一体化			
人員の成長領域 (ストック事業等) シフト強化			
生産性向上 (場内物流最適化・工程集約等)			
配送効率向上 (物流拠点・車両の共同利用等)			

### 2) 販促強化

- エリア別商品戦略推進 (平屋強化等)
- 展示場リニューアル・機能強化、広告展開

■ 引き続き住宅市況は低迷。非住宅市況は想定をやや下回って推移。スプレッド維持、「固定費」抑制を徹底し、増収増益の見通し。計画（10月）通り、下期営業利益は、最高益更新を見込む

■ 年度最高益更新、営業利益率10%の見通し

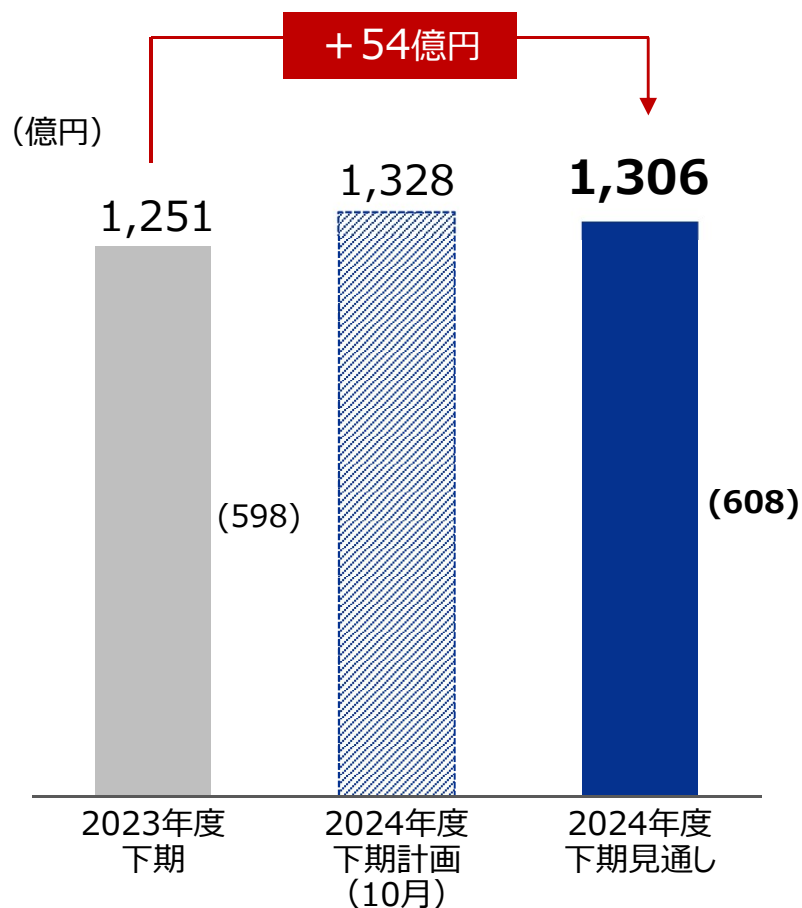
\*重点拡大製品：高付加価値、かつ市場成長・代替が見込める製品

- ・ 国内：総コスト上昇影響をスプレッド確保の徹底によりカバー。重点拡大製品\*の拡販に注力
- ・ 海外：設備投資需要、および塩素化塩ビ樹脂（CPVC）インド市況は、低迷継続を見込む。FFU・管路更生の新規受注獲得に注力

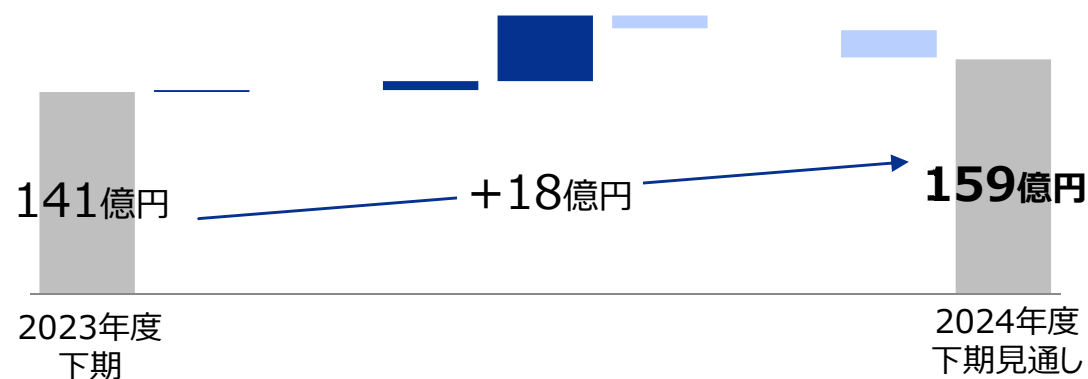
## 売上高

\*カッコ内は3Q実績

## 営業利益増減要因分析



	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
下期計画 (10月)	0	▲1	+9	+39	▲12	0	▲17	+18
下期増減見通し	+1	0	+5	+36	▲7	0	▲15	+18



	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
3Q増減	+1	▲1	▲5	+16	▲1	+1	▲4	+7
4Q増減	0	0	+9	+20	▲6	0	▲11	+12

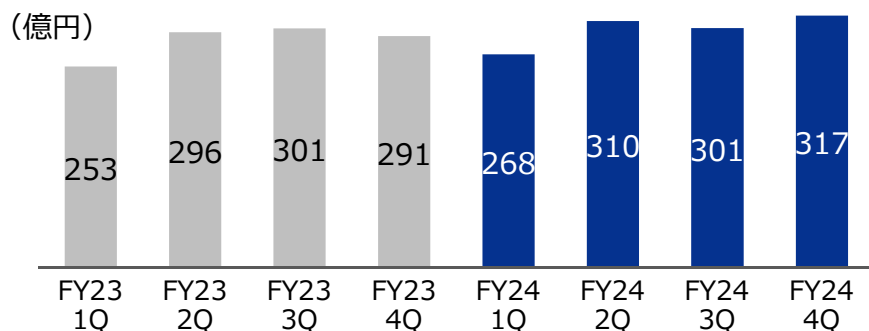


## 戦略3分野の売上高推移と重要指標

### パイプ・システムズ

建築・  
プラント配管材

- 管材群：非住宅（ビル・マンション）市況は、想定をやや下回るも、新値定着により堅調に推移
- CPVC：インド市況の低迷長期化も、新製品上市によるシェアアップに注力。タイ工場生産能力増強（25年下期稼働予定）

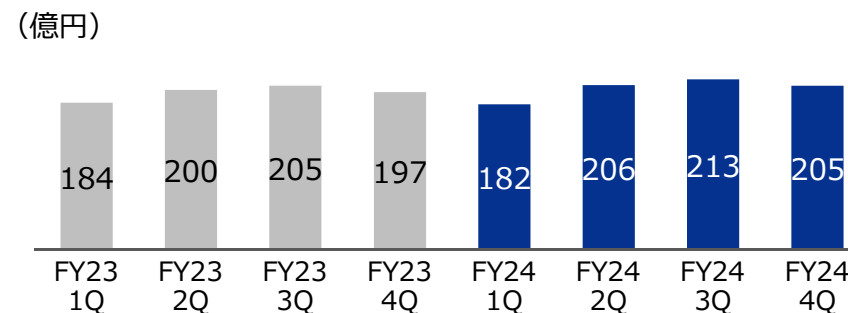


### 住・インフラ複合材

耐火・  
不燃材料

機能材  
(鉄道枕木等)

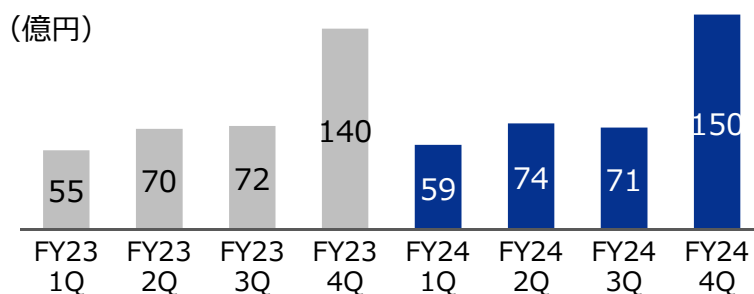
- 耐火/不燃材料：新製品拡販進捗、海外新用途の実績化に注力
- FFU：欧州工場生産性向上。欧州を中心に順調に採用拡大
- ユニットバス：介護・リフォーム向けを中心に堅調に推移



### インフラ・リニューアル

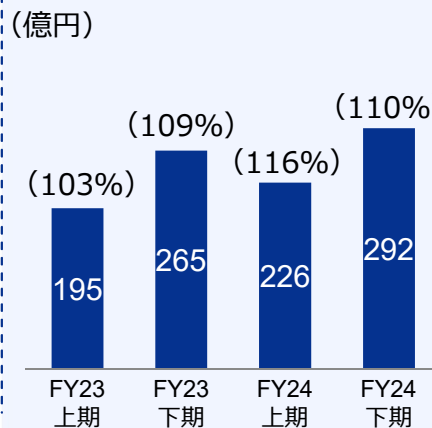
管路更生

- 管路更生：国内公共工事（大口径）の発注減少。海外での新規物件獲得を目指す
- アクアシステム：引き続き給水用パネルタンクが堅調



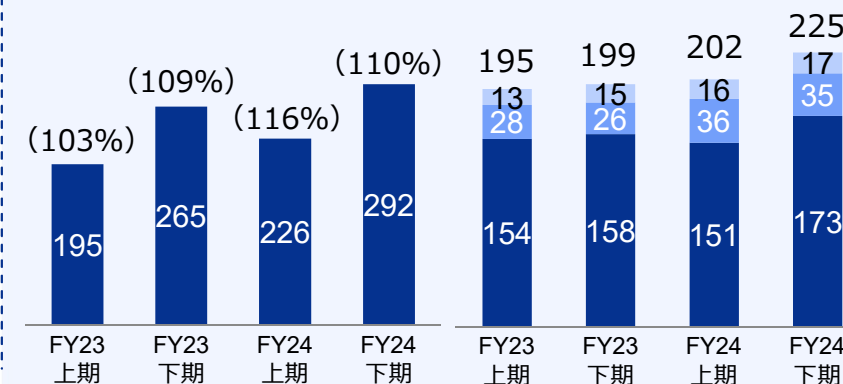
### 【重点拡大製品売上高(国内)】

- 好調な耐火管、PE管を中心に下期伸長の見通し



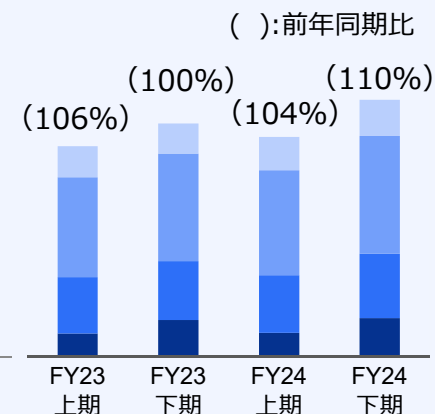
### 【海外地域別売上高】

- アジア（CPVC）市況影響大きく想定を下回るも着実に伸長
- 欧州（FFU）伸長の見通し



### 【成長牽引事業売上高】

- 管路更生
- 耐火・不燃材料
- 建築・プラント配管材
- 機能材（鉄道枕木等）



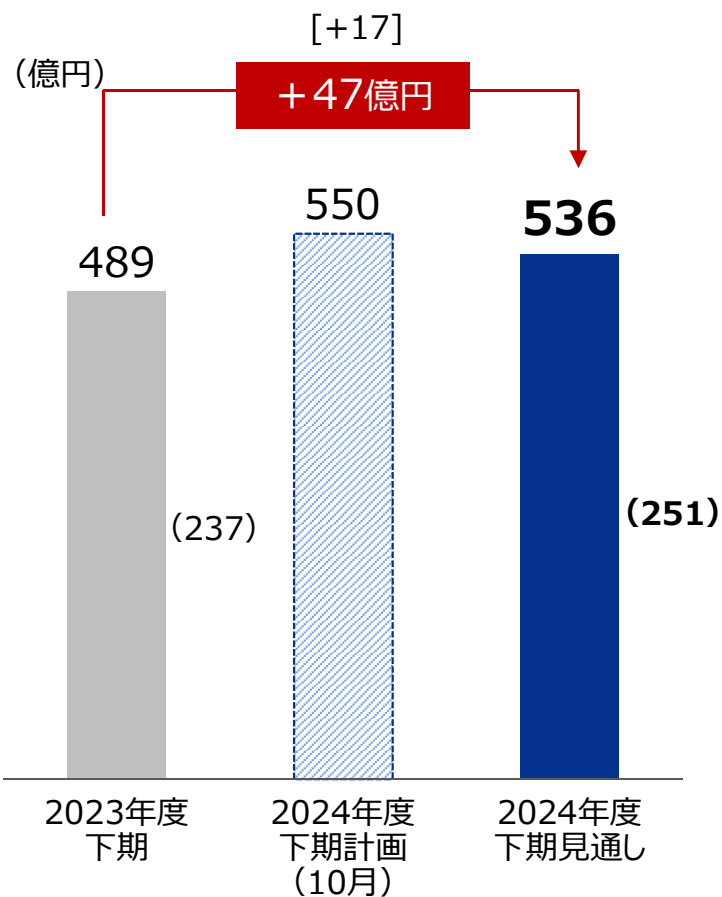
\*国内製品輸出含む

- 国内感染症検査薬、主要原薬は引き続き堅調に推移。中国での検査需要減、米国感染症検査キットの拡販遅延影響大きく、下期は計画（10月）にやや未達も、大幅増益の見通し
- 年度売上高1,000億円超え、営業利益126億円を達成し、最高売上高および最高益更新を目指す

## 売上高

\*カッコ内は3Q実績

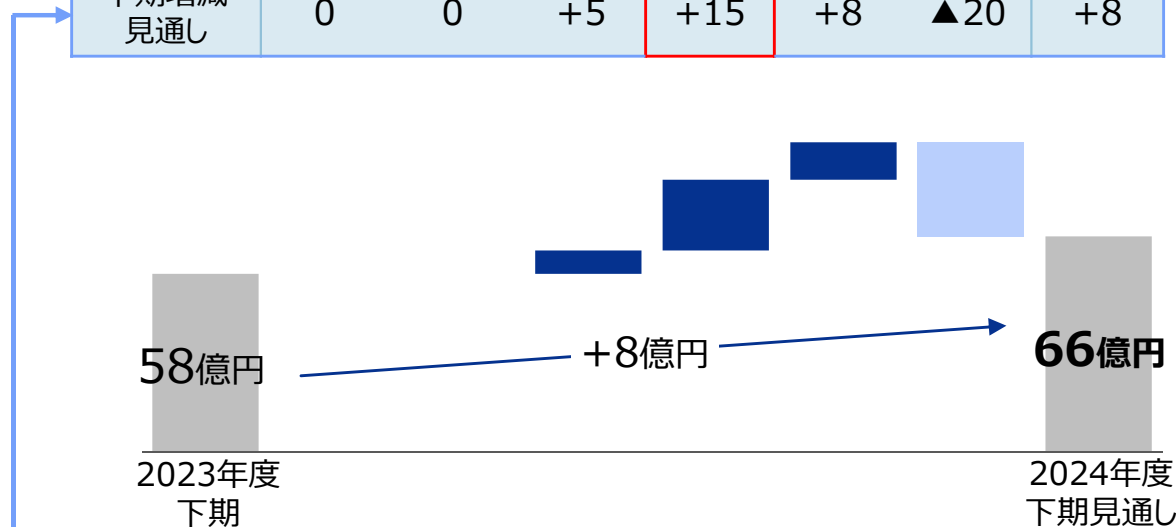
※ [ ] 内はFLU・COVID-19検査キット除く



## 営業利益増減要因分析

計画（10月）対比  
中国▲5、欧米▲4

	連結増減	為替	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
下期計画 (10月)	0	+1	+4	+23	+11	▲24	+15
下期増減見通し	0	0	+5	+15	+8	▲20	+8

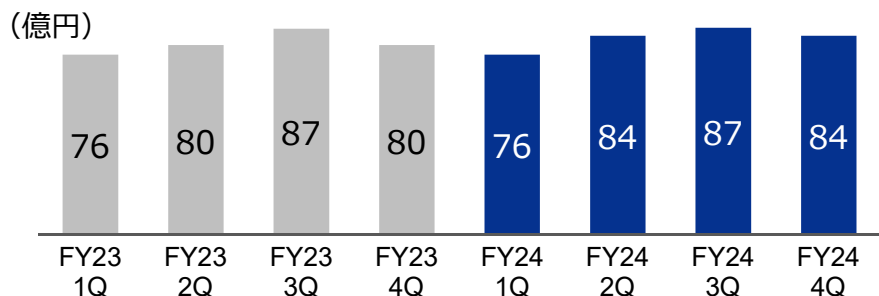


	連結増減	為替	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
3Q増減	0	▲1	0	+3	+4	▲2	+5
4Q増減	0	+1	+5	+12	+4	▲19	+4

## 事業別の売上高推移と進捗状況

### 検査国内

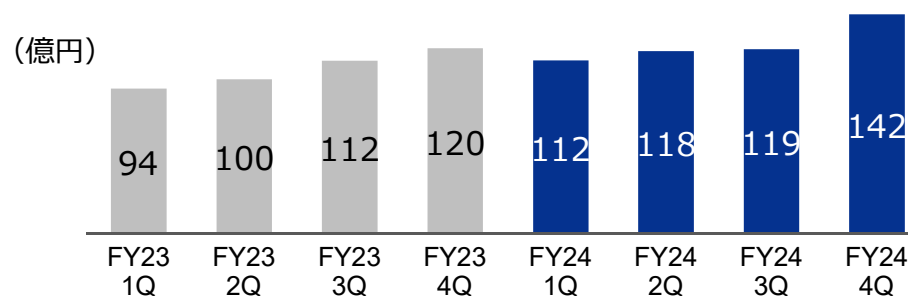
- 3Q：免疫・感染症検査需要を着実に獲得
- 4Q：堅調な感染症を中心に検査需要の取り込みを継続



### 検査海外

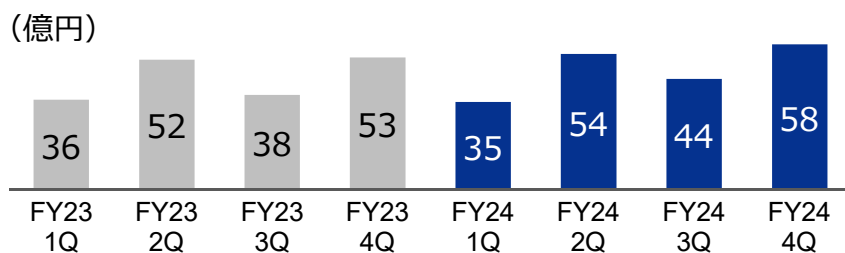
#### 海外検査システム

- 3Q：中国での検査需要減、米国での感染症検査キット拡販遅れも増収確保
- 4Q：米国での感染症検査キット拡販に注力



### 医療 (医薬・創薬支援・酵素)

- 3Q：主要原薬・創薬支援事業が堅調に推移
- 4Q：更なる新規受注獲得に注力

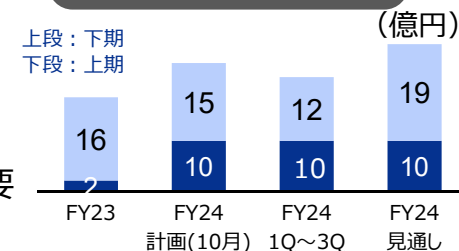


### 医療(CDMO)

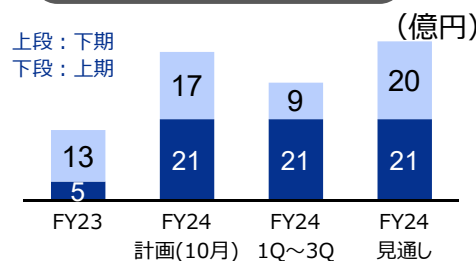
- 3Q：米国コンボ検査キット (FLU/Cov) 苦戦も、FLU、COVID-19検査キット (単品) は堅調
- 4Q：米国コンボ検査キット (FLU/Cov) の継続的な拡販、インフルエンザ検査需要の確実な獲得

## 感染症検査キット売上高推移

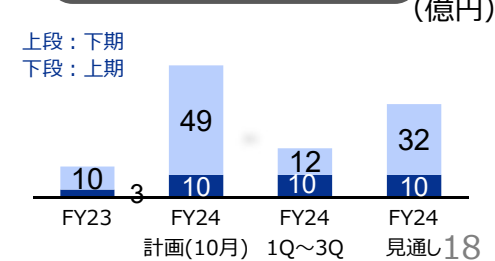
### FLU



### COVID-19



### FLU/COVID-19



# 2024年度第3四半期 決算内容

---

## 連結対象会社数

	2024年3月末	2024年12月末	増減
連結会社	143社	144社	増加 3社 <sup>*1</sup> 減少 2社 <sup>*2</sup>
持分法会社	6社	6社	増加 0社 減少 0社

\*1 甲府積水産業（株）、東積加工（株）、四積化工（株）

\*2 PT. Sekisui Indonesia、Sekisui Chemical India Private Ltd.

## 連結会社増減等による影響等

	2024年度1Q-3Q(前年比)	増減
売上高	▲4億円	山陰セキスイ商事（株） <sup>*3</sup> 甲府積水産業（株） <sup>*4</sup>
営業利益	0億円	東積加工（株） <sup>*4</sup> 四積化工（株） <sup>*4</sup>

\*3 2023年度第2四半期中より連結除外

\*4 2024年度第1四半期中より新規連結

# 損益概要

(億円)	2023年度 1Q-3Q	2024年度 1Q-3Q	増減	
売上高	9,239	9,553	+314	
売上総利益	2,880	3,104	+224	
売上総利益率	31.2%	32.5%	+1.3%	為替差益 +29
販売費および一般管理費	2,222	2,330	+109	為替差益 +40
営業利益	658	774	+115	
持分法投資損益	0	5	+5	
その他営業外損益	70	82	+12	株式売却益 +145
経常利益	728	861	+133	
特別利益	142	145	+3	
特別損失	12	19	+7	株式売却益 +142
税引前利益	859	987	+129	
法人税等	263	286	+23	
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	16	+5	
親会社株主に帰属する四半期純利益	584	685	+101	
為替レート (期中平均)	米ドル	143円	153円	
	ユーロ	155円	165円	

# 貸借対照表 - 資産 -

(億円)	2024年 3月末	2024年 12月末	増減																												
現金及び預金	1,386	1,223	▲162																												
売上債権	2,135	2,095	▲40																												
棚卸資産	2,982	3,231	+249	<table border="1"> <thead> <tr> <th>棚卸資産 (B/S科目)</th> <th>2024年 12月末</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建売住宅 (製品)</td> <td>298</td> <td>▲82</td> </tr> <tr> <td>造成済土地 (分譲土地)</td> <td>690</td> <td>+13</td> </tr> <tr> <td>造成中土地 (仕掛品)</td> <td>85</td> <td>▲20</td> </tr> <tr> <td>工事中住宅 (仕掛品)</td> <td>482</td> <td>+174</td> </tr> <tr> <td>部材等 (原材料)</td> <td>65</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td>住宅計</td> <td>1,619</td> <td>+87</td> </tr> <tr> <td>非住宅計 (製品等)</td> <td>1,612</td> <td>+162</td> </tr> <tr> <td>棚卸資産計</td> <td>3,231</td> <td>+249</td> </tr> </tbody> </table>	棚卸資産 (B/S科目)	2024年 12月末	増減	建売住宅 (製品)	298	▲82	造成済土地 (分譲土地)	690	+13	造成中土地 (仕掛品)	85	▲20	工事中住宅 (仕掛品)	482	+174	部材等 (原材料)	65	+1	住宅計	1,619	+87	非住宅計 (製品等)	1,612	+162	棚卸資産計	3,231	+249
棚卸資産 (B/S科目)	2024年 12月末	増減																													
建売住宅 (製品)	298	▲82																													
造成済土地 (分譲土地)	690	+13																													
造成中土地 (仕掛品)	85	▲20																													
工事中住宅 (仕掛品)	482	+174																													
部材等 (原材料)	65	+1																													
住宅計	1,619	+87																													
非住宅計 (製品等)	1,612	+162																													
棚卸資産計	3,231	+249																													
その他流動資産	353	345	▲8																												
有形固定資産	3,925	4,014	+89	<table border="1"> <tr> <td>取得 +419、減価償却▲333、 為替 +36</td> </tr> </table>	取得 +419、減価償却▲333、 為替 +36																										
取得 +419、減価償却▲333、 為替 +36																															
無形固定資産	591	616	+25																												
投資有価証券	1,274	1,163	▲112	<table border="1"> <tr> <td>売却 ▲176、時価評価 +53</td> </tr> </table>	売却 ▲176、時価評価 +53																										
売却 ▲176、時価評価 +53																															
投資その他の資産	587	641	+55																												
資産合計	13,232	13,327	+95	<table border="1"> <tr> <td>為替影響 +113 実質▲18</td> </tr> </table>	為替影響 +113 実質▲18																										
為替影響 +113 実質▲18																															

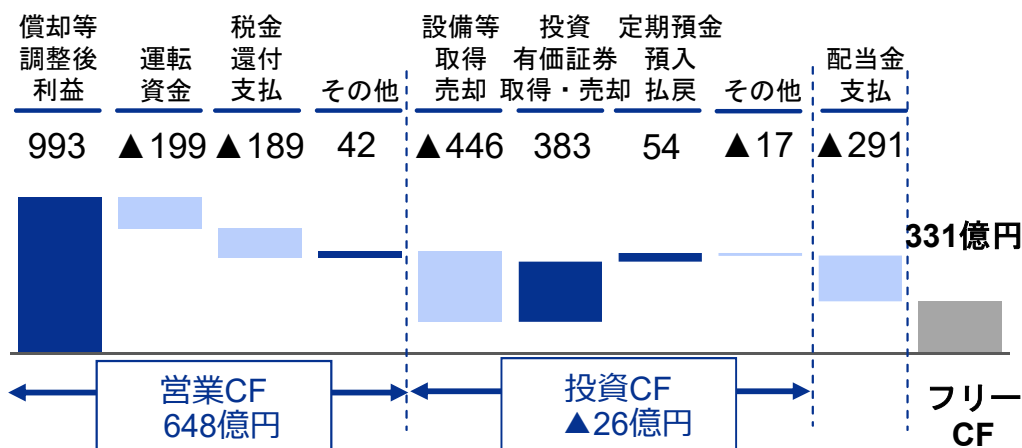
# 貸借対照表 -負債・純資産-

(億円)	2024年3月末	2024年12月末	増減	
無利子負債	3,816	3,759	▲57	
有利子負債	1,207	1,111	▲96	
(ネット有利子負債)	(▲178)	(▲112)	(+67)	
負債合計	5,023	4,871	▲152	
資本金等	2,086	2,087	0	
利益剰余金	5,019	5,314	+294	四半期純利益 +685 配当金支払 ▲320 自己株式消却 ▲72
自己株式	▲487	▲501	▲14	消却 +72 取得 ▲89
有価証券評価差額金	512	435	▲77	
非支配株主持分	286	295	+9	
その他純資産	792	827	+35	
純資産合計	8,209	8,457	+247	
負債・純資産合計	13,232	13,327	+95	為替換算調整勘定 +68
自己資本比率	59.9%	61.2%	+1.4%	
D/Eレシオ(ネット)	▲0.02	▲0.01	+0.01	

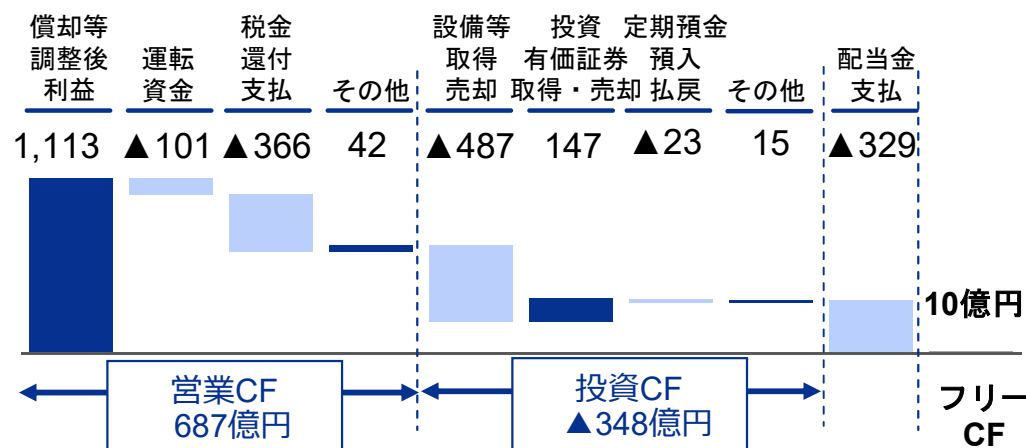


(億円)	2023年度1Q-3Q	2024年度1Q-3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	648	687
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲26	▲348
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲509	▲547
現金及び現金同等物の増減額	149	▲191
現金及び現金同等物の期末残高	1,001	1,074
フリーキャッシュ・フロー = 営業活動CF + 投資活動CF - 配当金支払	331	10

2023年度1Q-3Q フリーCF



2024年度1Q-3Q フリーCF

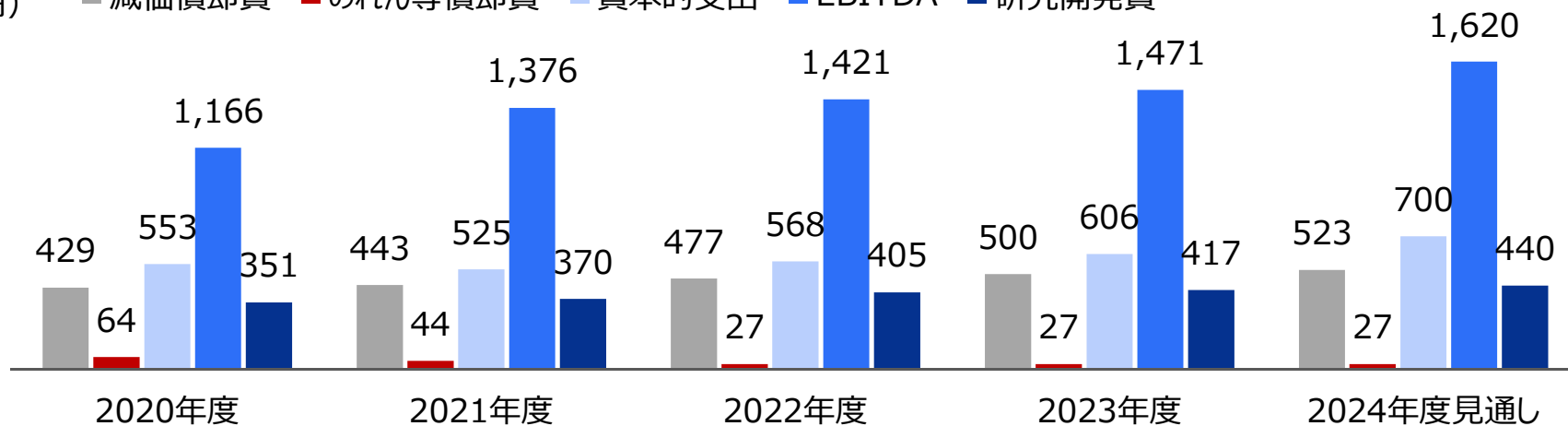


# 減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2023年度 1Q-3Q	2024年度 1Q-3Q	増減	2023年度 通期	2024年度 通期見通し	増減
減価償却費*1	369	379	+10	500	523	+23
のれん等償却費*2	20	20	▲1	27	27	0
資本的支出	433	468	+35	606	700	+94
EBITDA*3	1,047	1,172	+125	1,471	★ 1,620	+149
研究開発費	309	325	+16	417	440	+23

## 減価償却費・資本的支出・研究開発費推移

(億円) ■ 減価償却費 ■ のれん等償却費 ■ 資本的支出 ■ EBITDA ■ 研究開発費



\*1 減価償却費はM&Aによる無形資産の償却費は含まず

\*2 のれん等償却費 = のれん償却費+M&Aによる無形資産の償却費

\*3 EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん等償却費

住宅事業の主要データ		2024年度				2023年度				2022年度 通期
		上期	下期見通し		通期見通し	上期	下期		通期	
			3Q	下期見通し			3Q	下期		
連結	売上高 (億円)	2,537	1,320	2,700	5,237	2,648	1,267	2,649	5,297	5,374
	住宅	1,652	865	1,703	3,354	1,753	832	1,726	3,480	3,636
	リフォーム	538	266	543	1,081	509	252	524	1,033	973
	その他	347	189	455	802	386	183	399	784	764
	不動産	276	139	295	570	273	136	292	565	525
	住生活サービス	34	18	37	71	36	19	37	73	76
	まちづくり	30	28	116	146	61	21	59	120	127
	海外	7	3	7	15	6	4	8	14	16
その他	1.販売棟数 (棟)	4,315	2,140	4,350	8,665	4,675	2,150	4,485	9,160	10,350
	戸建	4,045	2,010	3,965	8,010	4,400	2,035	4,070	8,470	9,700
	請負	3,465	1,755	3,430	6,895	3,745	1,750	3,480	7,225	8,300
	建売	580	255	535	1,115	655	285	590	1,245	1,400
	アパート等	270	130	385	655	275	115	415	690	650
	2.主なデータ									
	単価<全国販社・戸建> (百万円)	36.4	38.0	-	-	34.8	35.9	35.7	35.2	33.2
	坪単価<全国販社・戸建> (万円)	107.7	111.7	-	-	101.0	103.8	103.9	102.3	94.8
	床面積<全国販社・戸建> (㎡)	111.6	112.1	-	-	113.7	114.2	113.3	113.5	115.7
	展示場数(棟)	400	-	-	392	430	-	-	404	430
営業人員数(人)	2,355	2,239	-	2,193	2,451	2,355	-	2,241	2,275	

# 各種実績データ

■ 売上高 (億円)	2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
高機能P	1,106	1,105	1,120	-	961	1,042	1,060	1,066	991	1,024	979	970
住宅	1,162	1,374	1,320	-	1,210	1,438	1,267	1,381	1,157	1,445	1,290	1,482
環境LL	525	609	608	-	513	584	598	653	501	603	592	647
メディカル	223	255	251	-	205	232	237	253	206	223	224	244

■ 売上高 (億円)	2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エレクトロニクス	157	169	178	-	126	148	142	137	157	129	131	116
モビリティ	587	586	580	-	489	550	574	578	432	493	486	502
インダストリアル	266	265	268	-	243	249	241	254	267	271	252	254

■ 売上高 (億円)	2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
液晶向け	48	51	53	-	47	49	48	45	58	37	41	42
非液晶向け	109	117	125	-	79	98	95	93	99	92	90	73
非液晶比率 (%)	70%	69%	70%	-	62%	68%	66%	67%	63%	71%	69%	63%

N-HPP中間膜 販売量 対前年伸長率 (%)	2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	112%	100%	95%	-	98%	102%	107%	103%	98%	119%	102%	98%

\*22年度および23年度は区分変更前の高機能中間膜の実績。24年度より N-HPP中間膜

# 各種実績データ

インダストリアル分野		2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
省力化製品		59	60	58	-	49	52	48	56	60	56	48	53
環境対応製品		19	19	22	-	17	21	20	22	19	19	21	21
住宅		2024年度				2023年度				2022年度			
■営業利益（億円）		上期		下期		上期		下期		上期		下期	
住宅		79		-		67		79		95		112	
リフォーム		50		-		40		42		36		43	
その他		16		-		22		26		17		27	
環境LL		2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
パイプ・システムズ		268	310	301	-	253	296	301	291	257	298	295	286
住・インフラ複合材		182	206	213	-	184	200	205	197	173	208	209	204
インフラリニューアル		59	74	71	-	55	70	72	140	50	69	59	127
環境LL		2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）		上期		下期		上期		下期		上期		下期	
重点拡大製品（国内）		226		-		195		265		190		243	
海外		202		-		195		199		222		195	
メディカル		2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
検査国内		76	84	87	-	76	80	87	80	78	73	81	77
検査海外		112	118	119	-	94	100	112	120	89	104	106	112
医療		35	54	44	-	36	52	38	53	39	45	37	55

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

\* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

**SEKISUI**